

第1号～第70号 総目次

創刊号

情報と情報財に対する権利	鄭 成思(鈴木 賢・坂口一成)	3
判断機関分化の調整原理としての包袋禁反言の法理	田村 善之	11
最近の裁判例にみる禁反言の研究：新版	吉田 広志	41
パテント・プールの独禁法上の違法性とその効力 —アルゼ株式会社対日本電動式遊技機特許株式会社・特許実施料返還請求事件への鑑定意見書—	吉田 克己	93
日本の医薬品産業と研究開発—競争政策の観点から—	稗貫 俊文	133
特許法における属地主義の原則の限界	梶野 篤志	159

第2号

包括的クロスライセンスと職務発明の補償金額の算定	田村 善之	1
知的財産法における属地主義の原則—抵触法上の位置づけを中心とする カートリーダ事件最高裁判決の理論的考察	横溝 大	17
複数主体が特許発明を実施する場合の規律—いわゆる共同直接侵害について—	駒田 泰土	43
著作物利用のための手段を提供する者に対する差止め	梶野 篤志	63
米国における均等論制限理論：“Dedication Rule”について —Johnson & Johnston v. R. E. Service 事件を中心に—	佐藤 豊	77
音楽著作物の類似性の範囲について—記念樹事件—	田口 哲久	93
ソフトウェアの表示画面について著作権侵害を否定した事例 —PIM ソフトウェア事件—	松本 有啓	121
	小林 基子	135

第3号

Theory of Intellectual Property Law	Yoshiyuki TAMURA(城山康文)	1
<競争的繁栄>と知的財産法原理 一田村善之教授の知的財産法理論の基礎に関する法哲学的検討—	長谷川 晃	17
知的財産関連産業と知的財産の国際化：独占促進と開発阻害？	Peter DRAHOS(立花市子)	35
Intellectual Property Industries and the Globalization of Intellectual Property: Pro-Monopoly and Anti-Development?	Peter DRAHOS	65
著作権の制限と「クリックラップ」ライセンス：著作権取引はどうなるのか?	Lucie GUIBAULT(会沢 恒)	91

権利管理システムのためのフェアユース・インフラストラクチャ	Dan L. BURK and Julie E. COHEN(会沢 恒)	131
契約と技術による著作権の拡張に関する日本法の状況		
—ギボー報告およびバーク報告に対するコメント—	曾野 裕夫	185
冒認出願と眞の権利者保護	松田 竜	195
建築の著作物と同一性保持権	才原 慶道	217
第4号		
国際化、現代化及び法典化—中国知的財産権制度発展の道—	吳 漢東(鈴木 賢・金 勲)	1
Internationalization, Modernization, and Codification:		
The Way of China Intellectual Property Development	WU Handong	17
WTO 加盟後の中国著作権戦略についての分析	胡 開忠(鈴木 賢・金 勲)	33
Analysis of China's Copyright Strategies After its Entry into WTO	HU Kaizhong	49
中国著作権法における職務著作について	彭 涛(鈴木 賢・金 勲)	65
On the Perfection of 'Work Made for Hire' Under Chinese Copyright Law	PENG Tao	77
強力な知的財産法は、経済成長の鍵となるか—米国における知的財産法とサイバーファーの最近の推移—	Edward G. DURNEY(渡部俊英)	87
Are Strong Intellectual Property Laws a Key to Economic Growth?—Recent Developments in Intellectual Property Law and Cyberlaw in the United States—	Edward G. DURNEY	133
インクの詰め替えと商標権侵害の成否—リソグラフ事件—	田村 善之	175
職務著作における雇用契約の存否判断—RGB アドベンチャー事件—	村井麻衣子	189
第5号		
職務発明に関する抵触法上の課題	田村 善之	1
職務著作の準拠法	駒田 泰士	29
著作権譲渡及び職務著作を巡る国際的法適用関係	稻垣 佳典	51
著作者人格権とマルチメディア	Philippe GAUDRAT(横溝 大)	69
フランスの著作財産権とデジタルの諸問題	Stéphane GREGOIRE(瀬川信久)	129
特許権の用尽存否の判断基準	倉内 義朗	153
ビデオソフトの中古販売につき頒布権侵害が否定された事例	佐藤 豊	173

第6号

キリングフィールド—知的財産と遺伝子利用制限技術—	
.....	Stephen HUBICKI and Brad SHERMAN(石井純一)
修理や部品の取替えと特許権侵害の成否.....	田村 善之
用尽とは何か—契約、専用品、そして修理と再生産を通して—	吉田 広志
中国地方政府の特許業務の動態.....	楊 和義(前原 洋)
中国地方政府专利工作动态.....	杨 和义
著作権市場の生成と fair use—Texaco 判決を端緒として—(一)	
.....	村井麻衣子
実用品に付されるるデザインの美術著作物該当性(一).....	劉 曜倩

第7号

複数の侵害者が特許侵害製品の流通に関与した場合の損害賠償額の算定について	田村 善之	1
医薬品特許と強制実施—HIV/AIDS 問題を中心に—	朴 栄吉(李 妍淑)	35
WTO/TRIPS 協定の台湾知的財産権法制度への影響	謝 銘洋(前原 洋)	69
21世紀における知的財産権の法哲学的考察—知的財産権制度の再構築の視点から		
	曹 新明(前原 洋)	87
東アジアの知的財産権について—その理念・現状・戦略—	稗貫 俊文	103
特許を受ける権利等の共有者による審決取消訴訟	才原 慶道	121
著作権市場の生成と fair use—Texaco 判決を端緒として—(二・完)		
	村井麻衣子	139
実用品に付されるデザインの美術著作物該当性(二・完)	劉 曉倩	177
地域ブランドについて不正競争防止法の周知表示として保護が認められた事例		
—三輪素麺事件	久木田百香	201

第8号

.....	吉田 広志	147
職務著作における「法人等の業務に従事する者」—グリーン・グリーン事件—	津幡 笑	189

第9号

日本のバイオテクノロジー産業と競争政策 —リサーチツール特許のライセンス問題—	稗貫 俊文	1
特許対象の再編成と財産権主義の台頭 —ビジネス方法の特許適格性	Nari LEE(田村善之・津幡 笑)	23
FRED PERRY 最高裁判決にみる商標機能論	立花 市子	71
並行輸入と商標権侵害の成否—内外拡布者一体性の要件の射程—	石上千哉子	97
知的財産権の侵害警告と「正当な権利行使」—近時の裁判例について—	瀬川 信久	111
著作権ライセンス契約におけるライセンサーの地位の保護のあり方	曾野 裕夫	135

第10号

著作権の考え方 William M. LANDES and Richard A. POSNER(山根崇邦)	1	
抽象化するバイオテクノロジーと特許制度のあり方(1) 田村 善之	49	
冒認に関する考察～特に平成13年最高裁判決と平成14年東京地裁判決の 関係をめぐって～ 吉田 広志	67	
冒認特許に関する一考察—営業秘密法の観点から— 解 亘	103	
取消訴訟における審理の範囲と判決の拘束力—審決取消訴訟からの示唆—	村上 裕章	145
中国における特許審決取消訴訟の基本構造—日本との比較 魯 鵬宇	173	
欧州共同体意匠規則—市場指向型デザイン保護システムの概要とその後の進展—	青木 博通	189
CBD・Akwé: Kon ガイドラインについて 田上麻衣子	215	
【資料】Akwé: Kon 任意ガイドライン 青柳由香・田上麻衣子(訳)	221	
アクセス可能な著作物に対する公衆の利用の自由—はたらくじどうしや事件—	村井麻衣子	247

第11号

INTELLECTUAL PROPERTY Wendy J. GORDON(田辺英幸)	1
欧洲における著作権とP2P P. Bernt HUGENHOLTZ(渡部俊英)	43
MGM は本当に Grokster 事件で勝訴したか Pamela SAMUELSON(津幡 笑)	53

抽象化するバイオテクノロジーと特許制度のあり方(2) ······	田村 善之	65
標準化技術に関する特許とアンチ・コモンズの悲劇 ·····	Nari LEE(田村善之・立花市子)	85
特許法 104 条の 3 を考える ······	高部眞規子	123
著作物と作品概念との異同について ······	駒田 泰土	145
デジタル環境における情報取引 ······	小島 立	163
Information Transactions in a Digital Environment:		
From the Perspective of Intellectual Property Law ······	Ryu KOJIMA	185
競業避止義務制約の法理 ······	道幸 哲也	205
人材派遣業において不正競争防止法 2 条 1 項 1 号の周知性が否定された事例 —プロフェッショナルバンク事件— ······	川村明日香	231

第 12 号

特許権行使と特許訴訟における損害賠償額の算定とについて—ドイツを例として ·····	Heinz GODDAR(城山康文)	1
中国知的財産権の保護水準の現状分析 ······	胡 開忠(石上千哉子)	21
知的財産権の観念について：法定主義及びその適用 ······	李 揚(金 熱)	35
抽象化するバイオテクノロジーと特許制度のあり方(3・完) ······	田村 善之	91
国際規範としての無方式主義が及ぶ範囲 ······	菱沼 剛	115
ドイツ法におけるライセンシーの保護 ······	駒田 泰土	141
生物多様性条約(CBD)と TRIPS 協定の整合性をめぐって ······	田上麻衣子	163
抵触法における不正競争行為の取扱い—サンゴ砂事件判決を契機として ·····	横溝 大	185
プロダクト・バイ・プロセス・クレイムの特許適格性と技術的範囲(1) ·····	吉田 広志	241
表示についての使用許諾関係の誤信と「混同のおそれ」		
—ラ ヴォーグ南青山事件— ······	才原 慶道	301
無効審判請求不成立審決の取消訴訟係属中に訂正審決が確定した場合の 審決取消訴訟の帰趣—建築物の骨組構築方法事件— ······		
山根 崇邦	321	

第 13 号

使用者・従業者関係における知的財産の帰属に関する比較検討 ·····	Kamal PURI(青柳由香)	1
先住民の知的財産保護における哲学的文脈 ······	長谷川 晃	27
伝統的知識と遺伝資源の保護の根拠と知的財産法制度 ······	田村 善之	53
規範的損害と保険—知的財産権侵害に即して— ······	山本 哲生	71
中国商標法における先使用権の知的財産法的解釈 ······	李 揚(徐 海峰)	101
プロダクト・バイ・プロセス・クレイムの特許適格性と技術的範囲(2・完) ·····		

.....	吉田 広志	131
商標法38条1項の適用の可否と複数侵害者間の損害賠償請求権の関係		
一メープルシロップ事件—	高橋 司	171
特許侵害訴訟において先使用権を援用しうる者の範囲—移載装置事件—		
.....	村井麻衣子	213

第14号

宗教団体の名称使用権をめぐって.....	五十嵐 清	1
特許法における政策レバー(1)		
..... Dan L. BURK and Mark A. LEMLEY(山崎 昇)	45	
効果的な特許制度に関する多元的理論の試み(1)	Nari LEE(田村善之)	113
著作権の「間接侵害」と差止請求.....	吉田 克己	143
営業秘密における秘密管理性要件.....	津幡 笑	191
営業秘密の保護と秘密管理性—人工歯事件—.....	小嶋 崇弘	215
Ending is better than Mending—修理、詰替および再利用に関する近年の日本の 判例について—	クリストファー・ヒース(毛利峰子)	241
著作権の登録による権利の帰属に関わる一応の推定	菱沼 剛	257
知的財産信託の構造と課題.....	小坂 準記	281
フォーカロア作品における共同体著作者の概念を放棄せよ		
—鳥蘇里船歌(ウースーリ川舟歌)事件—	李 揚(劉 曉倩)	329
従業者が作成した著作物の利用関係が争われる事例における「公表名義」		
要件の意義—講習資料職務著作事件—	藤野 忠	355

第15号

国際的な知的財産権制度におけるハーモナイゼーションに抵抗する		
5つの傾向について	Peter K. YU(田村善之・村井麻衣子)	1
特許法における政策レバー(2・完)		
..... Dan L. BURK and Mark A. LEMLEY(山崎 昇)	53	
効果的な特許制度に関する多元的理論の試み(2・完)	Nari LEE(田村善之)	137
多機能型間接侵害制度による本質的部分の保護の適否—均等論との整合性—		
..... 田村 善之	167	
「テレビ放送をインターネット回線を経由して視聴するシステム」を使用する ための設備提供のは是非—まねきTV事件—	佐藤 豊	241
中国におけるコンピュータプログラムに関する発明の専利保護の新発展		
..... 余 翔・劉 珊(石上千哉子)	277	
孤児著作物問題を巡る議論について—認識された論点、 提案された解決策および残された問題点	菱沼 剛	299

模写における創作性の判断基準—豆腐屋事件—	村井麻衣子	341
著作物の題号と同一構成の商標が公序良俗に反し無効とされた事例 — Anne of Green Gables 事件—	松原 洋平	371

第 16 号

欧洲の法における共有特許権者の地位について	クリストファー・ヒース(立花市子)	1
国際的な囲い込みの動きについて (1)	Peter K. YU(青柳由香)	31
検索サイトをめぐる著作権法上の諸問題 (1)		
—寄与侵害、間接侵害、フェア・ユース、引用等—	田村 善之	73
特許法において開示要件(実施可能要件・サポート要件)が果たす役割	潮海 久雄	131
用途発明に関する特許権の差止請求権のあり方		
—「物」に着目した判断から「者」に着目した判断へ—	吉田 広志	167
特許無効審判における一事不再理	飯島 歩	247
韓国の著作権集中管理制度の現状と問題点—日韓の音楽著作権産業の比較を中心に—	張 睿暉	289
商品等の立体的形状に関する商標法 3 条 2 項の適用		
—「ひよ子」立体商標登録審決取消請求事件—	劉 曉倩	311

第 17 号

ベルギー著作権契約法	Frank GOTZEN(戸波美代)	1
国際的な囲い込みの動きについて (2)	Peter K. YU(青柳由香)	19
政策という観点からみた知的財産権の性質の研究—TRIPs 序文を起点として—		
—寄与侵害、間接侵害、フェア・ユース、引用等—	田村 善之	79
第三者により BBS 上になされた書き込みについて BBS 管理者の著作権侵害責任が認められた事例—2ちゃんねる小学館事件—	高瀬 亜富	125
長編連載漫画における原作者の権利範囲と著作権法 28 条		
—キャンディ・キャンディ事件—	渡邊 文雄	163
被写体の行動を揶揄・批評するための写真の引用の可否		
—創価学会写真ウェブ掲載事件—	平澤 卓人	183

第 18 号

国際的な囲い込みの動きについて (3)	Peter K. YU(青柳由香)	1
検索サイトをめぐる著作権法上の諸問題 (3・完)		

—寄与侵害、間接侵害、フェア・ユース、引用等—	田村 善之	31
米国特許法における国内消尽論—条件付売買と価格差別論の適用を中心に—	羅 秀培	69
特許発明の実施品であるインクタンクの使用済み品を用いて製造された再生品について特許権に基づく権利行使をすることの許否—インクカートリッジ事件—	酒迎 明洋	105
内部分裂と不正競争防止法2条1項1号の請求権者	才原 慶道	181
職務発明を巡る国際的法適用関係	横溝 大	201
著作権侵害が認められない場合における一般不法行為の成否		
—通勤大学法律コース事件—	山根 崇邦	221

第 19 号

伝達方法(コミュニケーション)からモノへ—商標の財産権としての概念化の史的側面—	Lionel BENTLY(大友信秀)	1
国際的な囲い込みの動きについて(4・完)	Peter K. YU(青柳由香)	51
非専用品型間接侵害(特許法101条2号、5号)の問題点	三村 量一	85
グローバル経済におけるコンピュータプログラム特許の断片的侵害	Nari LEE(丹澤一成)	115
伝統的知識と伝伝資源の保護の根拠と知的財産法制度・再論	田村 善之	157
伝伝資源及び伝統的知識をめぐる議論の調和点	田上麻衣子	167
先住民の創作物の著作権による保護—今後の課題		
—	Brad SHERMAN and Leanne WISEMAN(鈴木將文)	191
ニュージーランドにおけるマオリの知的財産の保護	Tania WAIKATO(田上麻衣子)	221
時間、労働と生態—先住民の財産権の核心的テーマ		
—	黃 居正(坂口一成)	243
「属地主義」の光と影	陳 一	285
著作権集中管理団体の注意義務	李 海青	291
著作隣接権譲渡契約の締結後に法定された支分権の帰属		
—レコード原盤音源送信可能化権確認請求事件—	藤野 忠	313

第 20 号

知的財産法政策学の試み	田村 善之	1
著作物の保護及びP2P ソフトウェアリーガル・オプション、そのいざれを選択すべきか?—	Mark DAVISON and Rebecca Giblin-CHEN(山崎 昇)	37
国際的知的財産権侵害における問題点	吉田 広志	57
ソフトウェア関連発明における自然法則利用性の評価について		

一回路シミュレーション方法事件判決を端緒とした検討	平嶋 竜太	65
韓国ソフトウェア特許の現状と課題		
特許の国際的保護のための政府間協力について	丁 相朝(李 京林・李 海青・李 京鳴・金 起弘・河 有貞)	95
最近の知的財産制度を巡る国際動向について	高倉 成男	153
不当な特許権行使—侵害警告と侵害後の無効化との比較法的考察—	鈴木 将文	169
クリストファー・ヒース(城山康文)		183
商標の逆混同の理論について—「藍色風暴(青色の嵐)」商標権侵害事件—		
普通名称性の立証とアンケート調査—アメリカでの議論を素材に—	彭 学龍(劉 曉倩)	203
井上由里子		235
真の発明者の認定—細粒核事件—	山根 崇邦・時井 真	265
最高数量制限と OEM 製造委託義務の独禁法上の評価		
一日之出水道機器知財高裁判決	青柳 由香	299

第 21 号

均等論における本質的部分の要件の意義(1)

—均等論は「真の発明」を救済する制度か?—	田村 善之	1
特許法における補正・訂正に関する裁判例の分析と提言(1)		
—新規事項追加禁止を中心に—	吉田 広志	31
追及権をめぐる論争の再検討(1)		
—論争の背景、EC 指令の効果と現代美術品市場	河島 伸子	89
米国著作権法フェアユース判決(1978-2005 年)の実証的研究(1)		
Barton BEEBE(城所岩生)		117

米国法における有名人の歌真似(sound-alike)録音物の違法性に関する一考察

安藤 和宏	171
-------	-----

特許権の侵害者に対する独占的通常実施権者の損害賠償請求権

金子 敏哉	203
-------	-----

共有特許権者による自己実施—ドイツの議論からの示唆—

金子 敏哉	239
-------	-----

未承認国家の著作物とベルヌ条約上の保護義務—北朝鮮著作物事件—

横溝 大	263
------	-----

商標の類否判断における取引実情の考慮と音楽 CD におけるアーティスト名表示の
「商品等表示としての使用」該当性—ELLEGARDEN 事件— 小嶋 崇弘 279

第 22 号

改善多項制の下におけるクレーム訂正

制度論的観点から見た著作権：アクター・利益・利害関係と参加のロジック（1）	Antonina Bakardjieva ENGELBREKT(田村善之)	31
均等論における本質的部分の要件の意義（2・完）		
—均等論は「真の発明」を救済する制度か？—	田村 善之	55
特許法における補正・訂正に関する裁判例の分析と提言（2・完）		
—新規事項追加禁止を中心に—	吉田 広志	87
追及権をめぐる論争の再検討（2・完）		
—論争の背景、EC指令の効果と現代美術品市場	河島 伸子	137
米国著作権法フェアユース判決（1978-2005年）の実証的研究（2・完）	Barton BEEBE(城所岩生)	163
アメリカにおけるミュージック・サンプリング訴訟に関する一考察（1）		
—Newton判決とBridgeport判決が与える影響—	安藤 和宏	201
中国における自動車意匠の保護の状況と関連裁判例の分析		
—自動車意匠の類似性判断をめぐって—		
余 翔・周 莹(蘭 蘭・顧 昕・邬 青・朱 誉鳴)	233	
マドリッド議定書における国際商標登録制度をめぐる論点—日本の商標法を中心には—	李 京林	255

第23号

イノベーションと競争政策	後藤 晃	1
デジタル化時代の著作権制度—著作権をめぐる法と政策—		
—	田村 善之	15
制度論的観点から見た著作権：アクター・利益・利害関係と参加のロジック（2・完）	Antonina Bakardjieva ENGELBREKT(田村善之)	29
インターネット情報へのアクセスおよび取得行為の違法性	權 英俊(金 勲)	57
韓国におけるオンラインサービス提供者の法的責任論が進むべき方向	朴 俊錫(金 勲)	113
知的財産法におけるパブリックドメインの保護について	胡 開忠(大内哲也)	157
韓国の特許侵害訴訟における無効判断の運用	李 京鳴	183
アメリカにおけるミュージック・サンプリング訴訟に関する一考察（2・完）		
—Newton判決とBridgeport判決が与える影響—	安藤 和宏	231
知的財産権の侵害警告と「正当な権利行使」（1）		
—アクティブマトリクス型表示装置事件—	洪 振豪	285

第 24 号

特許の無効と訂正をめぐる諸問題	高部眞規子	1
他人の著作権侵害を助ける技術に対する規律のあり方		
—デュアル・ユース技術の規制における社会規範の役割—		
..... Branislav HAZUCHA(田村善之・丹澤一成)	25	
絵画的な表現の著作物の保護範囲—博士イラスト事件—		
..... 津幡 瑞笑	97	
用途発明を巡る新規性の確立についての一考察	南条 雅裕	117
特許請求の範囲における誤記の訂正の限界	時井 真	149
米国特許損害賠償事件における entire-market-value rule の分析		
..... 孫 櫻倩	179	
中国特許法第三次改正と TRIPs 協定の比較研究		
..... 余 翔・胡 水晶(解 宜)	213	
情報財の価格差別と著作権保護	宮澤信二郎	229
分割してインターネット配信する著作物に対する法的保護		
一日めくりカレンダー事件—	平澤 卓人	259
知的財産権の侵害警告と「正当な権利行使」(2・完)		
—アクティブマトリクス型表示装置事件—	洪 振豪	291
中山 信弘著『著作権法』	田村 善之	341

第 25 号

継続して 3 年間不使用による商標登録取消審判の研究		
..... 李 扬(洪 振豪)	1	
商品形態のデッド・コピー規制の動向—制度趣旨からみた法改正と裁判例の評価—		
..... 田村 善之	33	
商品形態の実質的同一性判断における評価基準の構築—近時の裁判例を素材として—		
..... 蘭 蘭	67	
写真の著作物の保護範囲—写真に依拠して制作された水彩画が		
翻案権侵害に当たるとされた事例—	比良友佳理	117
秘密管理性要件に関する裁判例研究—裁判例の「振り戻し」について—		
..... 近藤 岳	159	
日本法における商標パロディの可能性—SHI-SA 事件—		
..... 平澤 卓人	235	
芸能人の肖像写真が雑誌の記事に利用された場合のパブリシティ権侵害の成否		
—ピンクレディー・パブリシティ事件—	北村 二朗	301

第 26 号

立体商標制度の基本構造とその解釈—日米欧の比較法の考察—	青木 博通	1
著作権の間接侵害	田村 善之	35
著作物の適法利用のための手段提供の是非—ロクラク II 事件控訴審判決を題材に—	佐藤 豊	75
ロクラク事件とオンデマンド放送—新技術とオンラインサービスの規制における法、市場、裁判所の役割—	Branislav HAZUCHA(佐藤 豊)	113
ファイル共有ソフトの開発提供と著作権侵害罪の帮助犯の成否—Winny 事件—	藤本 孝之	167
著作権法における権利制限規定の解釈と 3 step test (1)—厳格解釈から柔軟な解釈へ—	小嶋 崇弘	221
未知の利用方法にかかる権利の帰属—快傑ライオン丸事件—	安藤 和宏	257
「シェ・ピエール」というフランス料理店の表示が全国周知ではないとされた事例 一類似表示使用者の営業地域を分断した商品等表示使用差止命令の可能性 ～広告宣伝が周知性肯定の資料となりうる要件の分析と共に—	時井 真	293

第 27 号

使用者が職務発明を自己実施している場合の「使用者等が受けるべき利益の額」 の算定手法について—実施許諾を併用している場合の処理—	田村 善之	1
職務発明関連訴訟における新たな動向—使用者が受けるべき利益を中心に—	吉田 広志	31
インターネットと欧州における知的財産法・競争法間の相互作用の再構築(1)	Tuomas MYLLY(田村善之・青柳由香)	81
情報化社会に対する著作権法の適応におけるスリーステップテストの役割(1)	Christophe GEIGER(安藤和宏)	107
著作権法における権利制限規定の解釈と 3 step test (2)—厳格解釈から柔軟な解釈へ—	小嶋 崇弘	131
不正競争防止法 2 条 1 項 3 号における依拠の要件の意義—近時の裁判例を素材として—	蘭 蘭	165
特許法 104 条の 3 による請求棄却判決と上告審係属中に当該特許権について確定した訂正審判との関係—ナイフの加工装置事件—	近藤 岳	187
有効成分、効能・効果を同じくする医薬品について先行処分が存在するにもかかわらず 存続期間の延長を認めた裁判例—放出制御組成物事件—	古澤 康治	221

第 28 号

知的財産権に基づく請求権の制限について ······ 李 扬(蘭 蘭)	1
知的財産権と文化多様性—市場と文化との関係に関する 2 つの見解— ······ Branislav HAZUCHA(南部朋子)	39
文化多様性と市場構造—メディア、エンタテインメント経済学からの検討— ······ 河島 伸子	91
オンライン上のゲートキーピングの歴史 (1) ······ Jonathan ZITTRAIN(成原 慧・酒井麻千子・生貝直人・工藤郁子)	117
インターネットと欧州における知的財産法・競争法間の相互作用の再構築(2・完) ······ Tuomas MYLLY(田村善之・青柳由香)	147
情報化社会に対する著作権法の適応におけるスリーステップテストの役割(2・完) ······ Christophe GEIGER(安藤和宏)	177
知的財産権の正当化根拠論の現代的意義 (1) ······ 山根 崇邦	195
事実に基づく表現と創作性—ライブドア裁判傍聴記事件— ······ 渡部 俊英	225

第 29 号

著作権における経済学的調査の寄与—現状の調査と学際的な理論の描写 ······ Matthias LEISTNER(川田 篤)	1
著作権の制限を通じた創作活動の推進 (1)—著作権法における排他性概念の省察 ······ Christophe GEIGER(津幡 笑)	69
コンピュータープログラムの互換性と著作権に関する進化経済学的視点 (1) ······ Ulla-Maija MYLLY(青柳由香)	93
オンライン上のゲートキーピングの歴史 (2) ······ Jonathan ZITTRAIN(成原 慧・酒井麻千子・生貝直人・工藤郁子)	117
TRIPS 協定の目的と原則 (1) ······ Peter K. YU(安藤和宏)	143
最近のモンサント事件の一連の判決における DNA 特許の範囲 ······ Christopher HEATH(川田 篤)	179
著作者人格権の不行使特約—法と経済学における分析 ······ 河島 伸子	205
複数の主体の関与を前提とした発明の実施者に対する差止請求 —眼鏡レンズの供給システム事件— ······ 酒迎 明洋	247
「招福巻」が普通名称に該当するとした判決—招福巻事件— ······ 田村 善之	279

第 30 号

標準化の経済効果—スプリット型標準化の事例— ······ 土井 教之・藤田 公一・南 典政・椎野 徹	1
著作権の制限を通じた創作活動の推進 (2・完)—著作権法における排他性概念の省察	

.....	Christophe GEIGER(津幡 笑)	23
著作権法における権利制限規定の解釈と3 step test (3) —厳格解釈から柔軟な解釈へ—	小嶋 崇弘	43
コンピュータープログラムの互換性と著作権に関する進化経済学的視点 (2・完)	Ulla-Maija MYLLY(青柳由香)	71
オンライン上のゲートキーピングの歴史 (3・完)	Jonathan ZITTRAIN(成原 慧・酒井麻千子・生貝直人・工藤郁子)	93
TRIPS協定の目的と原則 (2・完)	Peter K. YU(安藤和宏)	115
知的財産権の正当化根拠論の現代的意義 (2)	山根 崇邦	163
キャラクターの絵画的表現の保護範囲—マンション読本事件—	丁 文杰	201
商標権の譲渡後の従前の真正商品の並行輸入の可否—Converse並行輸入事件—	田村 善之	279

第 31 号

逸失利益の推定覆滅後の相当実施料額賠償の可否	田村 善之	1
間接侵害に関する最近のドイツ判例法の展開について	Gisbert STEINACKER(小栗久典)	13
国境を越えた寄与侵害	Heinz GODDAR(池原元宏)	33
著作権法における権利制限規定の解釈と3 step test (4) —厳格解釈から柔軟な解釈へ—	小嶋 崇弘	45
シャンパーニュ、フェタ、バーボン(1)：地理的表示に関する活発な議論	Justin HUGHES(今村哲也)	77
知的財産権の正当化根拠論の現代的意義 (3)	山根 崇邦	125
特許実施許諾契約における錯誤	才原 慶道	147
法務局から土地宝典の貸出を受け、法務局内の複写機で無断複製を行った利用者の行為につき、国に損害賠償責任等が認められた事例—土地宝典事件—	時井 真	163
退職後におけるノウハウの使用を禁止する契約の有効性とその適用範囲	平澤 順人	219
一眉のトリートメント技術事件—	嶋 拓哉	277

第 32 号

日本版フェア・ユース導入の意義と限界	田村 善之	1
知的財産権の正当化根拠論の現代的意義 (4)	山根 崇邦	45
現在の優先権制度実務が抱える問題	柴田 和雄	69

著作権の間接侵害に関する日本の裁判例、学説と中国への示唆	李 扬(丁 文杰)	119
国境を越えた間接侵害の共同不法行為に関する国際裁判管轄—データ伝送方式事件—	比良友佳理	161
シャンパニュ、フェタ、バーボン(2)：地理的表示に関する活発な議論	Justin HUGHES(今村哲也)	215
複数請求項における一部訂正の許否—発光ダイオードモジュール事件—	山崎由紀子	249
スナップ肖像写真の著作物性と自由利用の可否—東京アウトサイダーズ事件—	高瀬 亜富	285

第 33 号

「知的財産権、経済発展とキャッチアップ」研究プロジェクトからの教訓	小田切宏之	1
認識の共食い：近代法による伝統的な文化的表現の保護の可否をめぐって	Gunther TEUBNER and Andreas Fischer-LESCANO(田村善之)	23
伝統的薬草から現代的医薬品へ—伝統的知識、新薬の発見方法、特許による バイオ・パイラーに関する批判的検討—	Graham DUTFIELD(田村善之・劉 曉倩)	61
フォーカロアの保護について	村井麻衣子	83
動画投稿共有サイト管理運営者と著作権侵害(1) —民事責任に関する日米裁判例の比較検討—	奥邸 弘司	105
経由プロバイダに対する発信者情報開示請求が認められた事例	町村 泰貴	155
WTO紛争解決システムと国際的財産法の展開(1)：制度的観点からの分析	Antonina Bakardjieva ENGELBREKT(渡部俊英)	169
知的財産権の正当化根拠論の現代的意義(5)	山根 崇邦	199
著作権と憲法理論	大日方信春	229
著作権の保護期間—文化政策の観点から—	小島 立	259
シャンパニュ、フェタ、バーボン(3・完)：地理的表示に関する活発な議論	Justin HUGHES(今村哲也)	283

第 34 号

A Philosophy of Intellectual Property(1)	Peter DRAHOS(山根崇邦)	1
試練に立つ除くクレームとする補正の適法性要件	南条 雅裕	57
分割出願における新規事項追加禁止の判断	時井 真	87
特許法の発展に対する制度設計の影響(1)—欧州及び米国における		

コンピュータ・プログラムとビジネス方法の特許可能性を例として—	
Matthias LEISTNER and Manuel KLEINEMENKE(鈴木將文)	119
国際技術標準と必須特許(1)—技術の競争に関する国際ハーモナイゼーションの 観点から—	Branislav HAZUCHA(佐藤 豊) 147
通商国家と知的財産権—国際政治経済学による知的財産権原論	
遠矢 浩規 177	
デジタル化時代における国際著作権制度の形成過程(1)	
—WIPO著作権条約の制定と欧米企業のロビー活動	西村もも子 201
WIPOにおける著作権保護の例外と制限に関する議論(1)	
—視覚障害者のための議論を中心に—	Silke von LEWINSKI(矢野敏樹) 219
WTO紛争解決システムと国際知的財産法の展開(2):制度的観点からの分析	
Antonina Bakardjieva ENGELBREKT(渡部俊英) 251	
知的財産法と奢侈禁止規範(1)	Barton BEEBE(南部朋子) 277
知的財産権の正当化根拠論の現代的意義(6)	山根 崇邦 317
包括クロスライセンス契約の相手方において職務発明が実施されなかった場合の 補償金額算定のあり方	田村 善之 351
人の精神活動を含む創作の発明該当性—音素索引多要素行列構造の英語と 他言語の対訳辞書事件	酒迎 明洋 373
登録阻却の場面における結合商標の類否判断一つみのおひなっこや事件—	
許 清 407	

第35号

中核制度の柔軟化—欧州著作権法の開放	Jonathan GRIFFITHS(城所岩生) 1
プロ・イノヴェイションのための特許制度のmuddling through(1)	
田村 善之 27	
米国の法と政策における遺伝子診断の特許適格性(1)	
Rochelle C. DREYFUSS(前田 健) 51	
特許法の発展に対する制度設計の影響(2・完)—欧州及び米国における コンピュータ・プログラムとビジネス方法の特許可能性を例として—	
Matthias LEISTNER and Manuel KLEINEMENKE(鈴木將文) 77	
国際技術標準と必須特許(2・完)—技術の競争に関する国際ハーモナイゼーション の観点から—	Branislav HAZUCHA(佐藤 豊) 111
「TRIPS」の共有知識化(完全版)	遠矢 浩規 139
デジタル化時代における国際著作権制度の形成過程(2・完)	
—WIPO著作権条約の制定と欧米企業のロビー活動	西村もも子 169
WIPOにおける著作権保護の例外と制限に関する議論(2・完)	
—視覚障害者のための議論を中心に—	Silke von LEWINSKI(矢野敏樹) 195

WTO 紛争解決システムと国際知的財産法の展開(3・完)：制度的観点からの分析	Antonina Bakardjieva ENGELBREKT(渡部俊英)	217
動画投稿共有サイト管理運営者と著作権侵害(2)		
—民事責任に関する日米裁判例の比較検討—	奥邸 弘司	239
A Philosophy of Intellectual Property (2)	Peter DRAHOS(山根崇邦)	271
知的財産法と奢侈禁止規範(2)	Barton BEEBE(南部朋子)	315
中国馳名商標における稀釈化理論の運用に関する一考察		
一日中両国における著名標章保護の比較研究—	邬 青	349
識別力の弱い要素からなる商品パッケージの保護—サントリー黒烏龍茶事件—		
	比良友佳理	383

第 36 号

現代アートと法—知的財産法及び文化政策の観点から—	小島 立	1
Google イメージ検索に関するドイツ連邦通常裁判所判決		
—欧州の例外・制限規定に対するアプローチの「限界」を示す一例として	Matthias LEISTNER(小川明子・志賀典之)	57
著作権法における権利制限規定の解釈と 3 step test (5)—厳格解釈から柔軟な解釈へ—		
	小嶋 崇弘	91
動画投稿共有サイト管理運営者と著作権侵害(3・完)		
—民事責任に関する日米裁判例の比較検討—	奥邸 弘司	121
プロ・イノヴェイションのための特許制度の muddling through (2)		
	田村 善之	153
米国の法と政策における遺伝子診断の特許適格性(2・完)		
	Rochelle C. DREYFUSS(前田 健)	181
フォークロアの保護—国際的な議論における取り組み		
	Silke von LEWINSKI(比良友佳理)	209
アメリカを例外に！—日本、ヨーロッパ式著作権の間接侵害の刑罰規定の導入に対して—	Salil K. MEHRA(表 洋輔)	241
A Philosophy of Intellectual Property (3)	Peter DRAHOS(山根崇邦)	261
知的財産法と奢侈禁止規範(3・完)	Barton BEEBE(南部朋子)	293
外国法人のウェブサイトに特許権被疑侵害製品を掲載していること、及び日本において同法人が営業行為を行っている等の事情により日本に国際裁判管轄を認めた事例—モータ事件	張 鵬	337

第 37 号

詐称通用(パッシングオフ)と不正競争：競争法における対立とコンバージェンス	Mary LAFRANCE(矢野敏樹)	1
知的財産法政策学研究 Vol. 70 (2025)	461	

ネオフェデラリストの視点から TRIPS 協定を展望する(1)—弾力性を持つ国際知的財産制度の構築に向けて—	Rochelle C. DREYFUSS(田村善之・劉 曜倩)	37
TRIPS 協定の形成過程における日米欧民間三極会議	西村もも子	57
A Philosophy of Intellectual Property (4)	Peter DRAHOS(山根崇邦)	91
知的財産権の正当化根拠論の現代的意義(7)	山根 崇邦	125
普通名称と記述的表示—独占適応性欠如型アプローチと出所識別力欠如型アプローチの相剋	田村 善之	151
標識法におけるサーチコスト理論—Landes & Posner の業績とその評価を中心に—	宮脇 正晴	195
著作財産権存続期間延長論—存続期間延長による映画著作物の収益性上昇効果の実証的考察	今西 賴太・大西宏一郎	215
国際的な不正競争行為を巡る法の適用関係について		
—抵触法上の通常連結と特別連結を巡って—	嶋 拓哉	253
ノンフィクション小説と漫画の類似性が争われた事例—弁護士のくず事件	比良友佳理	303

第 38 号

税闇における差押、通過と取引(1)	Christopher HEATH(佐藤 豊)	1
行政作用としての特許権発生と特許無効—特許法 104 条の 3 と行政法ドグマ—ティクー	興津 征雄	13
冒認出願及び記載要件に関する証明責任をめぐる諸問題	時井 真	77
特許審決取消訴訟における審理範囲：周知技術の新主張の許否		
—レーザ加工光学装置事件—	張 鵬	147
真の著作権リフォーム(1)	Jessica LITMAN(比良友佳理)	179
2012 年韓国著作権政策の主要課題	林 元善	223
「情報ネットワーク伝播権保護条例」の「セーフ・ハーバー」の効力		
—	王 迂(顧 昕)	239
ネオフェデラリストの視点から TRIPS 協定を展望する(2・完)—弾力性を持つ国際知的財産制度の構築に向けて—	Rochelle C. DREYFUSS(田村善之・劉 曜倩)	269
著作権法におけるパブリック・ドメインの衰退と興隆	黄 汇(蘭 蘭)	283
A Philosophy of Intellectual Property (5)	Peter DRAHOS(山根崇邦)	313

第 39 号

企業は何故特許を取得するのか、また開示情報は如何に重要か：		
日米の発明者サーベイからの知見	長岡 貞男	1
真の著作権リフォーム(2・完)	Jessica LITMAN(比良友佳理)	17

「侵害する運命」：著作権侵害におけるAuthorisation法理の忘れられた子供	Yee Fen LIM(渡部俊英)	57
著作権法による技術的手段の保護の正当性について	王 迂(孙 友容)	89
日本企業の中国における特許出願に関する再考	張 星源・中田 喜文	133
商標法における「商標の使用」概念の意義に関する日韓比較	李 基榮	157
JASRACの放送包括ライセンスをめぐる独禁法上の問題点	安藤 和宏	179
A Philosophy of Intellectual Property (6)	Peter DRAHOS(山根崇邦)	229
知的財産権の正当化根拠論の現代的意義(8)	山根 崇邦	265
プロ・イノヴェイションのための特許制度の muddling through (3)	田村 善之	293
税関における差押、通過と取引(2・完)	Christopher HEATH(佐藤 豊)	317
同一の廃墟を被写体として撮影された廃墟写真について翻案権侵害が否定された事例	谷川 和幸	343

第 40 号

クレイム解釈の現況—限定解釈の採否を中心に—	時井 真	1
ロッカー・サービスと DMCA のセーフハーバー—MP3tunes 事件正式事実審理省略		
判決が示唆するもの—	奥邸 弘司	33
分業体制下における不正競争防止法2条1項1号・2号の請求権者		
一対内関係的アプローチと対外関係的アプローチの相剋—	田村 善之	75
商品陳列デザインについての営業表示該当性の判断	張 鵬	109
日韓の不使用による商標登録取消審判制度の比較	李 基榮	135
著作権の間接侵害論と私的な利用に関する権利制限の意義についての考察		
—	前田 健	179
小売商標の権利範囲と他人の業務に係る商品との出所混同		
—「Blue Note」商標無効審判(不成立審決取消)事件—	藤野 忠	213

第 41 号

インセンティヴとしての著作権—単なる空想の产物か？	Diane Leenheer ZIMMERMAN(澤田悠紀)	1
著作権法における侵害要件の再構成(1)—「複製又は翻案」の問題性—		
—	上野 達弘	33
著作権の保護範囲に関し著作物の「本質的な特徴の直接感得性」基準に独自の意義を認めた裁判例(1)—釣りゲータウン2事件—	田村 善之	79
進歩性判断の現況とその応用可能性(1)	時井 真	125
ユーザーから見た著作権とその保護手段のあり方		

.....	Branislav HAZUCHA・劉 曉倩・渡部 俊英(柳瀬貴子)	179
アジアにおける知的財産制度の地域内統合—必要性、課題、可能性とモデル—		
.....	李 亞虹(鈴木將文)	209
女性週刊誌「女性自身」に「ピンク・レディー de ダイエット」と題する特集記事を組み、ピンク・レディーの白黒写真を無断掲載した行為についてパブリシティ権侵害を否定した事例(1)—ピンク・レディー事件—	橋谷 俊	231
著作者死後の改変行為に対する人格的利益の保護(1)—「駒込大観音」事件		
.....	表 洋輔	277
未承認国の著作物の保護範囲(1)—北朝鮮映画放送事件—	丁 文杰	325

第 42 号

知的財産権摩擦の構造—先進国間・南北間の国際利潤移転	遠矢 浩規	1
著作権法における侵害要件の再構成(2・完)—「複製又は翻案」の問題性—		
.....	上野 達弘	39
著作権の保護範囲に關し著作物の「本質的な特徴の直接感得性」基準に独自の意義を認めた裁判例(2・完)—釣りゲータウン2事件—	田村 善之	89
日独の発明の公開後の補償金支払請求権の比較		
一付：補償金額の認定の在り方について—	川田 篤	125
進歩性判断の現況とその応用可能性(2・完)	時井 真	173
編集著作物における著作者の認定	泉 克幸	241
A Philosophy of Intellectual Property(7)	Peter DRAHOS(山根崇邦)	259
女性週刊誌「女性自身」に「ピンク・レディー de ダイエット」と題する特集記事を組み、ピンク・レディーの白黒写真を無断掲載した行為についてパブリシティ権侵害を否定した事例(2・完)—ピンク・レディー事件—	橋谷 俊	297
著作者死後の改変行為に対する人格的利益の保護(2・完)—「駒込大観音」事件		
.....	表 洋輔	341
未承認国の著作物の保護範囲(2・完)—北朝鮮映画放送事件—	丁 文杰	395

第 43 号

フェアユースを理解する(1)		
.....	Neil W. NETANEL(石新智規・井上乾介・山本夕子)	1
ハイテク産業における特許戦略と戦略提携	楊 千斐(孙 友容)	45
標準化と特許権—RAND条項による対策の法的課題—	田村 善之	73
表現の全体(まとめ)は部分についての翻案を否定しうるか		
一釣りゲータウン2事件知財高裁判決の検討	駒田 泰土	109
著作権、技術的転換と音楽パッケージの販売(1)—日本の音楽産業を題材に		
.....	Branislav HAZUCHA(佐藤 豊)	145

映画、テレビ、広告のための脚本の知的財産をめぐる労働の歴史	Catherine L. FISK(橋谷俊)	157
著作権と所有権との関係についての一考察—ドイツの事例を中心として—	桂承均	181
A Philosophy of Intellectual Property (8・完)	Peter DRAHOS(山根崇邦)	219
消費者に商品の販売に関する情報を提供する行為の役務該当性—ARIKA事件—	酒迎明洋	263
鑑定証書への絵画のコピーの添付と著作権法上の「引用」	平澤卓人	287

第 44 号

規制の資本主義、グローバル化、そして歴史の終焉

日本の著作権法のリפורーム論—デジタル化時代・インターネット時代の	Peter DRAHOS(西村もも子)	1
「構造的課題」の克服に向けて—	田村善之	25
フェアユースを理解する (2・完)	Neil W. NETANEL(石新智規・井上乾介・山本夕子)	141
著作権、技術的転換と音楽パッケージの販売 (2・完)—日本の音楽産業を題材に	Branislav HAZUCHA(佐藤豊)	183
審決取消訴訟における新証拠提出範囲の検討：裁判例の類型的整理	高橋正憲	217
中国における営業秘密保護—秘密管理性要件に関する中国の学説と裁判例の状況	楊健君	249
を中心として	平澤卓人	283
商標パロディと商標法4条1項7号及び15号	不正競争防止法2条1項10号技術的制限手段迂回装置提供行為の範囲について	
—マジコン事件を題材に—	金暁特	335

Special Issue, Volume 1

Regulatory Capitalism, Globalization and the End of History	Peter DRAHOS	1
Patent Law Design in the “Open Innovation” Era	Yoshiyuki TAMURA	25
Copyright and New Technologies: Technology Providers as “New” Old Actors in		
Copyright Law and Policy	Branislav HAZUCHA	45

第 45 号

特許保護に関する宣言—法制度設計に関する各国の主権と TRIPS 協定—	田村善之・中山一郎(訳)	1
次世代の偉大な著作権法···	Maria A. PALLANTE(石新智規・山本夕子)	33
デジタル時代における著作権と表現の自由の衝突に関する制度論的研究 (1)		

.....	比良友佳理	79
フェア・ユースにおける市場の失敗理論と変容的利用の理論(1)		
—日本著作権法の制限規定に対する示唆—	村井麻衣子	105
著作権法における権利制限規定の解釈と3 step test(6・完)—厳格解釈から柔軟な解釈へ—	小嶋 崇弘	133
.....		
韓国の裁判例による職務発明の補償金算定基準の検討	金 成熙	293
特許不実施主体(NPEs)のビジネスモデルの内実:ケーススタディ		
.....	Kelli LARSON(陳 翰芸)	327
ライセンス契約と組織の垂直的構造	大木 良子	363
自動公衆送信の判断の枠組み—「まねきTV」事件—	孫 友容	385
秘密保持義務のないサービス業者に頒布した「Technical Guide」に基づき新規性の喪失を肯定した事例	黒川 直毅	437

第 46 号

知的財産政策と新たな政策形成プロセス—「知的財産立国」に向けた 10 年余	中山 一郎	1
.....		
デジタル時代における著作権と表現の自由の衝突に関する制度論的研究(2)	比良友佳理	69
.....		
フェア・ユースにおける市場の失敗理論と変容的利用の理論(2)		
—日本著作権法の制限規定に対する示唆—	村井麻衣子	95
中国の商標法の歴史・現状・発展	曲 三強(孫 友容)	133
台湾商標行政訴訟における裁判基準時	劉 介中(劉 曉倩)	147
知的財産権・不法行為・自由領域(1)—日韓両国における規範的解釈の試み—	丁 文杰	197
.....		
プロ・イノベーションのための特許制度の muddling through(4)	田村 善之	269
.....		
特許発明の部材である医薬単剤を製造販売することの間接侵害性が争われた事例		
—ピオグリタゾン事件—	橘 雄介	293
著作権法における「公に」及び「公衆」概念の限界—幸福の科学祈願経文事件		
.....	平澤 卓人	345
差止めを命ぜる外国判決の承認と間接管轄	横溝 大	387

第 47 号

競争行為の正当性評価における道徳化に関する再考	蒋 航(孫 友容)	1
.....		
シンポジウム「営業秘密保護法制の再構成」趣旨説明	Christoph RADEMACHER	27
.....		

米国営業秘密法—その発展と適用—	Sharon K. SANDEEN(足立 勝)	29
営業秘密の不正利用行為の規律に関する課題と展望	田村 善之	41
営業秘密の保護	高部眞規子	59
企業における秘密管理の実務について—コカ・コーラ社における営業秘密の保護 を中心にして—	足立 勝	83
富士通の情報管理について	西田 雅俊	89
デジタル時代における著作権と表現の自由の衝突に関する制度論的研究(3)	比良友佳理	97
フェア・ユースにおける市場の失敗理論と変容的利用の理論(3)		
—日本著作権法の制限規定に対する示唆—	村井麻衣子	119
フリースピーチ	Anupam CHANDER and Uyên P. LÊ(石新智規・井上乾介)	149
地理的表示保護制度に関する一考察—我が国の地理的表示法の位置づけを中心として—	伊藤 成美・鈴木 將文	223
著作権法における私的秩序形成と消費者の権利—日本の消費者の視点から	Branislav HAZUCHA・劉 曉倩・渡部 俊英(長沼裕也)	261
知的財産権・不法行為・自由領域(2)—日韓両国における規範的解釈の試み—	丁 文杰	301
被告製品を改造することが不可能ではなく、かつその方が実用的であることを理由に 「にのみ」要件を肯定し、特許法101条4号の間接侵害を認めた事例 —食品の包み込み成形方法及びその装置事件—	橋 雄介	327
ファッションショーにおける化粧、髪型のスタイリング、衣装やアクセサリーの 選択とコーディネートにつき著作物性を否定した事例(1)	橋谷 俊	367

第48号

次世代の著作権局：それは何を意味し、それがなぜ重要なのか	Maria A. PALLANTE(石新智規・山本夕子)	1
スリーステップテストの再検討(1)：同テストの柔軟性をいかに各国著作権法において 用いるか	Christophe GEIGER, Daniel GERVAIS and Martin SENFTLEBEN (佐藤 豊・林 季陽・黄 駿升)	29
デジタル時代における著作権と表現の自由の衝突に関する制度論的研究(4)	比良友佳理	61
フェア・ユースにおける市場の失敗理論と変容的利用の理論(4)		
—日本著作権法の制限規定に対する示唆—	村井麻衣子	97
言論規制—従来型と最新型(1)	Jack M. BALKIN(石新智規・櫻尾 淳)	131
アメリカ・ドイツにおける知的財産権研究の現状の比較、および両国の研究が中国の 知的財産権研究の対象と方法論にとって有する意義	蒋 舰・馬 利(蘭 蘭)	157

待望の決定を経て一標準必須特許は欧州でも無用となったか	Christoph RADEMACHER(松本 慶・岡田次弘)	193
商標的使用論の機能的考察(1)·····	平澤 順人	213
プロダクト・バイ・プロセス・クレームの許容性と技術的範囲：行為規範と評価規範の 役割分担という視点から—プラバスタチナトリウム事件最高裁判決の検討—	田村 善之	289
ファッションショーにおける化粧、髪型のスタイリング、衣装やアクセサリーの選択と コーディネートにつき著作物性を否定した事例(2・完)·····	橋谷 俊	329

第 49 号

スリーステップテストの再検討(2・完)：同テストの柔軟性をいかに各国著作権法において 用いるか····· Christophe GEIGER, Daniel GERVAIS and Martin SENFTLEBEN	(佐藤 豊・林 季陽・黄 駿升)	1
デジタル時代における著作権と表現の自由の衝突に関する制度論的研究(5)	比良友佳理	25
フェア・ユースにおける市場の失敗理論と変容的利用の理論(5)		
—日本著作権法の制限規定に対する示唆—····· 村井麻衣子	77	
商標類否の判断基準に関する一考察(1)—裁判例に基づく商標類似性に対する分析—	許 清	115
商標的使用論の機能的考察(2・完)····· 平澤 順人	201	
知的財産権・不法行為・自由領域(3)—日韓両国における規範的解釈の試み—	丁 文杰	261
言論規制—従来型と最新型(2・完)····· Jack M. BALKIN(石新智規・樋尾 淳)	301	
不正競争防止法2条1項3号の保護の開始時期—ステック加湿器事件—	比良友佳理	341
特許権の存続期間延長登録制度の要件と延長後の特許権の保護範囲について —アバスチン事件最高裁判決・エルプラット事件知財高裁大合議判決の意義と その射程—····· 田村 善之	389	
競業者による複数の不法行為を巡る国際裁判管轄と準拠法 ···· 嶋 拓哉	453	

第 50 号

越境する特許製品とわが国の特許権に基づく損害賠償 ···· 駒田 泰士	1	
デジタル時代における著作権と表現の自由の衝突に関する制度論的研究(6)	比良友佳理	19
フェア・ユースにおける市場の失敗理論と変容的利用の理論(6)		
—日本著作権法の制限規定に対する示唆—····· 村井麻衣子	35	
表現規制としての標識法とその憲法的統制(1)····· 平澤 順人	61	

商標類否の判断基準に関する一考察(2・完)——裁判例に基づく商標類似性に対する分析——	許 清	123
プロ・イノヴェイションのための特許制度のmuddling through(5・完)	田村 善之	175
著作物等の写り込みと些少な侵害に関する一考察(1)：アメリカ法における位置づけを手がかりとして	橋谷 俊	255
知的財産権・不法行為・自由領域(4・完)——日韓両国における規範的解釈の試み——	丁 文杰	309
Intellectual Property and Regulatory Autonomy: Lessons from Investment Protection Arbitrations	Meng Li	339
リレーションナル・データベースの著作権侵害が争われた事例(1)——旅nesPro事件——	丁 文杰	371

第 51 号

知的財産法学の課題——旅の途中——	田村 善之	1
フェア・ユースにおける市場の失敗理論と変容的利用の理論(7)		
——日本著作権法の制限規定に対する示唆——	村井麻衣子	47
著作権集中管理団体の功罪をめぐる論争について——JASRACの「音楽教室からの料金徴収問題」を題材に——	田中 辰雄	65
特許権の間接侵害の理論(1)	橋 雄介	113
侵害訴訟にみるソフトウェア特許——特許庁と裁判所の「連携プレイ」と裁判所の「単独プレイ」による保護範囲の限定の現況——	李 思思	155
表現規制としての標識法とその憲法的統制(2)	平澤 卓人	197
リレーションナル・データベースの著作権侵害が争われた事例(2・完)——旅nesPro事件——	丁 文杰	273

第 52 号

知的財産高等裁判所の大合議制度の評価と課題	中山 一郎	1
職務発明の報酬に対する規制の理論上のジレンマと現実的な解決の糸口		
——蔣 航(山東佳帆)——	41	
著作権法におけるスタンダード型規範の司法による法形成(1)——権利制約メニューとしての引用の制限規定、著作物性、類似性について——	陳 信至	83
特許権の間接侵害の理論(2)	橋 雄介	151
表現規制としての標識法とその憲法的統制(3)	平澤 卓人	185
均等論の第5要件(意識的除外・審査経過禁反言)における出願時同効材への均等論適用と Dedication の法理の採否——マキサカルシートール事件最判の検討——	田村 善之	233

不正競争防止法2条1項1号と商標法4条1項10号の「需要者の間に広く認識されている」の意味と除斥期間経過後の無効の抗弁と商標権の濫用の成否—エマックス事件最判の検討—	田村 善之	249
営業秘密の有用性と非公知性について—錫合金組成事件—	陳 珂羽	279

第 53 号

アメリカにおける営業秘密の保護(1)—連邦営業秘密防衛法(DTSA)の運用実態と日本の営業秘密訴訟との比較—	山根 崇邦	1
連邦営業秘密防衛法(DTSA)をめぐる実務上の諸問題—Waymo v. Uber事件の教訓およびDTSAが実務にもたらす影響を中心として—	James Pooley・Mindy M. Morton・山根 崇邦(山根崇邦)	45
デジタル時代における著作権と表現の自由の衝突に関する制度論的研究(7・完)	比良友佳理	75
欧州司法裁判所の「新しい公衆」論について(1)	谷川 和幸	109
特許法の先使用権に関する一考察(1)—制度趣旨に鑑みた要件論の展開—	田村 善之	137
特許権の間接侵害の理論(3)	橋 雄介	159
特許審決取消判決の拘束力の範囲	興津 征雄	211
複数の被告製品の一部が数値限定発明の技術的範囲に属する場合に差止めの必要性を否定した事例	新藤 圭介	253
改变への包括的な默示の同意と同一性保持権—食品包装デザイン事件—	比良友佳理	277

第 54 号

著作権法と特許法における「懲罰的賠償制度」の非懲罰性	蔣 舳(山東佳帆)	1
フェア・ユースにおける市場の失敗理論と変容的利用の理論(8)		
—日本著作権法の制限規定に対する示唆—	村井麻衣子	41
日本、中国、ドイツ、EPO及び米国における進歩性に関する裁判例の統計分析及び若干の理論上の問題について(1)	時井 真	59
特許法における記載要件について—飲食物に関する発明の官能試験を素材として—	劉 一帆	91
特許法の先使用権に関する一考察(2)—制度趣旨に鑑みた要件論の展開—	田村 善之	129
表現規制としての標識法とその憲法的統制(4)	平澤 卓人	143
著作権と基本権に関する欧州司法裁判所 Szpunar 法務官意見と日本法への示唆—アフガニスタン・ペーパー事件、Pelham事件、Spiegel Online事件—		

.....	比良友佳理	181
ゲーム用ソフトウェアについて遊戯装置にしか装填できないことを理由に「にのみ」 型間接侵害を認めた事例—PS2 ゲーム機用ソフトウェア事件—	朱 子音	219

第 55 号

アメリカにおける営業秘密の保護(2) —連邦営業秘密防衛法(DTSA)の運用実態と 日本の営業秘密訴訟との比較—	山根 崇邦	1
知的財産法学における権利論と功利主義の相克(1) —知的財産制度の正当化根拠をめぐる論争の一断面—	山根 崇邦	31
特許法の先使用権に関する一考察(3・完)—制度趣旨に鑑みた要件論の展開—	田村 善之	83
医薬品等の特許権存続期間延長登録出願における「特許発明の実施をすることが できなかった期間」を算定するために参酌すべき試験—特許法第 67 条の 7 第 1 項 第 3 号の解釈—	清水 紀子	117
日本、中国、ドイツ、EPO 及び米国における進歩性に関する裁判例の統計分析及び 若干の理論上の問題について(2)	時井 真	205
意匠法改正をめぐる諸問題(1)	青木 大也	227
著作物等の写り込みと些少な侵害に関する一考察(2) : アメリカ法における 位置づけを手がかりとして	橋谷 俊	249
再現された情報に営業秘密と一致していない部分がある場合と営業秘密不正使用 行為該当性—プラスチック木型事件—	孫 夢潔	327

第 56 号

知的財産法学における権利論と功利主義の相克(2・完) —知的財産制度の正当化根拠をめぐる論争の一断面—	山根 崇邦	1
クレーム制度の補完としての均等論と第 5 要件の検討—第 4 要件との関係から考え るコンプリート・バーとフレキシブル・バーの相克—	吉田 広志	51
日本、中国、ドイツ、EPO 及び米国における進歩性に関する裁判例の統計分析及び 若干の理論上の問題について(3)	時井 真	103
著作権法におけるスタンダード型規範の司法による法形成(2) —権利制約メニューとしての引用の制限規定、著作物性、類似性について—	陳 信至	123
存続期間満了後の特許無効不成立審決取消訴訟の訴えの利益・進歩性要件の基礎 となる引例適格性・サポート要件における課題の再設定について—ピリミジ ン誘導体事件知財高裁大合議判決の検討—	田村 善之	163
撮影上の工夫を批評するための写真引用の可否	松井 佑樹	239

チラシの創作性が否定された事例—コンタクトレンズチラシ事件—

..... 石黒 駿 293

第 57 号

商標権侵害訴訟における商標の類似性要件の実証的研究	平澤 順人	1
著作権法におけるスタンダード型規範の司法による法形成(3) —権利制約メニューとしての引用の制限規定、著作物性、類似性について—	陳 信至	87
特許権侵害訴訟の事実審で無効の抗弁を容れて侵害を否定する判決が下された後の 上告審の段階で訂正審決が確定した場合の処理—シートカッター事件最判の検討—	田村 善之	123
機能および特性により特定したバイオ関連発明の記載要件の充足を認めた事例 —PCSK9に対する抗原結合タンパク質事件—	劉 一帆	155
ゲームのシステムに関する特許発明に対して前作のゲームソフトを併用しない 限り前作に登場するキャラクターをプレイできない新作ゲームソフトの製造販 売が「にのみ」型間接侵害に該当するかということが争われた事例		
—システム作動方法事件—	朱 子音	189

第 58 号

インダストリー 4.0 の技術革新モデルにおける新たな実用新案制度の役割	竹中 俊子	1
特許法 102 条2項における利益の意義・推定の覆滅と同条3項の相当実施料額の 算定について—二酸化炭素含有粘性組成物事件知財高裁大合議判決—	田村 善之	35
デッドコピー規制における実質的同一性判断—衣服デザインに関する事例分析を 通じて—	山本真祐子	67
ビッグデータの法的保護に関する一考察	泉 恒希	143
複数の取引態様の一部に混同の可能性があることを理由に混同のおそれを肯定 しつつ、製造に対する差止めを棄却した事例—携帯用ディスポーザブル低圧 持続吸引器事件—	朱 子音	215
サポート要件の判断において出願時の技術水準を参酌した発明課題の再設定を 否定した事例—ライスマルク事件—	劉 一帆	295

第 59 号

『知財の理論』を読んで.....	林 紘一郎	1
アメリカにおける営業秘密の保護(3・完)—連邦営業秘密防衛法(DTSA)の運用 実態と日本の営業秘密訴訟との比較—	山根 崇邦	7

特許法 102 条1項の逸失利益の推定とその覆滅について —美容器事件知財高裁大合議判決—	田村 善之	93
創作と人工知能：著作権による保護はその正当性を獲得する途上にあるか? Alexandra MENDOZA-CAMINADE(駒田泰土)		151
日本、中国、ドイツ、EPO及び米国における進歩性に関する裁判例の統計分析及び 若干の理論上の問題について(4)..... 時井 真	165	
技術的形態につき他に選択の余地があり知的財産権の独占状態の影響が払拭された ことを理由に不正競争防止法2条1項1号の保護を認めた事例【不規則充填物事件】 叶 鵬	255	
他人の氏名を含む商標であるとして、商標登録出願が商標法4条1項8号により 拒絶された事例—TAKAHIROMIYASHITA The Soloist. 事件知財高裁判決の検討— 山本真祐子	315	
リツイートによる著作権及び著作人格権侵害の成否 —リツイート事件最高裁判決の検討—	劉 楊	349

第 60 号

特許法 102 条各項の役割分担論と損害論定立の試み —統・知的財産権と損害賠償—	田村 善之	1
国境を越える営業秘密侵害に関する抵触法的考察	横溝 大	51
表現規制としての標識法とその憲法的統制(5)..... 平澤 隼人	65	
日本、中国、ドイツ、EPO及び米国における進歩性に関する裁判例の統計分析及び 若干の理論上の問題について(5)..... 時井 真	115	
意匠法改正をめぐる諸問題(2)..... 青木 大也	171	
違法ダウンロード行為を規定する要因のモデル化の試み 向井 智哉・松木 祐馬・西川 開	191	
写真を参考にしたイラストによる著作権侵害が否定された事例 鮎 妙塲	227	

第 61 号

特許法 102 条3項の損害算定における侵害プレミアム..... 中山 一郎	1	
フェア・ユースにおける市場の失敗理論と変容的利用の理論(9・完) —日本著作権法の制限規定に対する示唆—	村井麻衣子	37
香りと味の標章性・著作物性再考(1)—欧州の判決例等を手がかりに— 駒田 泰土	49	
パブリック・ドメイン保護要件としての新規性/進歩性の再構成 —内在的同一について特許を認めたロシュ v. アムジェン事件を端緒として— 吉田 広志	71	

日本、中国、ドイツ、EPO及び米国における進歩性に関する裁判例の統計分析及び若干の理論上の問題について(6).....	時井 真	111
のれん分けの事業者に対する商標権の行使が権利濫用に該当すると認めた事例.....	朱 子音	141
ビジネス用アプリケーションにおけるカテゴリー名の選択、配列の編集著作物性.....	松井 佑樹	217
リツイートによる公衆送信権侵害の成否とその際のトリミングに起因する氏名表示権と同一性保持権侵害の成否—リツイート事件知財高裁・最高裁判決の検討—.....	田村 善之	263

第 62 号

データ駆動型人工知能の知的財産保護.....	酒井 將行	1
京銘菓ハッ橋の創業年や来歴に関する表示について不正競争防止法上の品質誤認表示該当性を否定した判決一ハッ橋事件—.....	田村 善之・張 唯瑜	71
美容器事件及び二酸化炭素含有粘性組成物事件に係る各知財高裁大合議判決と令和元年改正特許法の下での損害論についての考察.....	飯田 圭	99
香りと味の標章性・著作物性再考(2・完)—欧州の判決例等を手がかりに—.....	駒田 泰土	187
日本、中国、ドイツ、EPO及び米国における進歩性に関する裁判例の統計分析及び若干の理論上の問題について(7).....	時井 真	201
事業の内容が定まっていないことを理由に事業の準備を否定した事例.....	叶 鵬	265
音楽教室における楽曲の使用による著作権侵害の成否—ヤマハ音楽教室事件—.....	劉 楊	309

第 63 号

標識関係訴訟における《需要者アンケート》(1)—「混同のおそれ」に関する実証研究—.....	井上由里子・佐々木通孝・五所 万実・吉岡(小林)徹	1
事業者の創業年に係る表示と景品表示法—不正競争防止法に係るハッ橋事件を題材として—.....	小野田志穂	67
日本、中国、ドイツ、EPO及び米国における進歩性に関する裁判例の統計分析及び若干の理論上の問題について(8).....	時井 真	93
特許権の間接侵害の理論(4).....	橋 雄介	141
医薬用途発明の進歩性につき発明の構成から当業者が予測しえない顕著な効果の有無の吟味を要求して原判決を破棄した最高裁判決について(1)		
—局所的眼科用処方物事件—.....	田村 善之	195
電子部品の取替えにより製造されたトナーカートリッジの再生品について特許権の		

行使が権利濫用とされた事例—情報記憶装置事件—	張 唯瑜	217
「置き換え可能に構成した」フレーム構造に係る特許権の侵害と付随品等への特許法 102条2項の適用の可否（ベッド等におけるフレーム構造事件）	金子 敏哉	279
応用美術の著作物性—タコの滑り台—	山田 亮	323

第 64 号

私の複製への著作権法の対応：機械的複製からクラウドサービス	楊 明（孫 友容）	1
特許適格性要件の機能と意義に関する一考察（1）	田村 善之	39
ソフトウェア関連発明の特許性判断における進歩性要件の役割	前田 健	73
美容器事件及び二酸化炭素含有粘性組成物事件に係る各知財高裁大合議判決と 令和元年改正特許法の下での損害論についての考察・統	飯田 圭	113
違法ダウンロードに関する説得効果の心理学的検討—準実験法による実証—	向井 智哉・松木 祐馬	165
標識関係訴訟における《需要者アンケート》（2） —「普通名称化」に関する実証研究—	井上由里子・五所 万実	197
育成者権の保護範囲に係るカスケイド原則—しいたけ事件を素材として—	渡邊 朋晃	243

第 65 号

知的財産権関係民事判決の公開状況について—東京・大阪以外の地方裁判所の 令和元年知財判決全件調査—	谷川 和幸	1
公衆電話ボックスを水槽に見立てた造作物の著作物性とその保護範囲が問題となった 事例—金魚電話ボックス事件—	李 遠杰	55
特許適格性要件の機能と意義に関する一考察（2・完）	田村 善之	107
日本、中国、ドイツ、EPO 及び米国における進歩性に関する裁判例の統計分析及び 若干の理論上の問題について（9・完）	時井 真	131
特許権存続期間延長登録制度において医薬品の製造販売承認申請書の記載が柔軟に 解釈された事例—止痒剤事件知財高裁判決—	清水 紀子	195

第 66 号

万華鏡のごとき書物：中山信弘『ある知財法学者の軌跡—知的財産法学に いざなわれて』	鈴木 將文	1
タコの形状を模した滑り台の著作物性を否定した知財高裁判決について	田村 善之	9

特許法における記載要件の日米比較研究(1)－バイオテクノロジーを中心に－	劉 一帆	67
特許権の間接侵害の理論(5)	橋 雄介	143
ツイートの書籍への掲載が著作権法32条1項の適法な引用とされた例		
－#KuToo事件	平澤 卓人	185
ランプシェードの立体的形状について商標法3条2項該当性を肯定した事例		
－ランプシェード審決取消訴訟事件	黒川 直毅	229
リバースプロキシの設定につき送信可能化権侵害を認めた事例－「漫画村事件」	劉 楊	263

第 67 号

商標の「蔽」を乗り越えるために～企業内実務者視点からの一試論	藤野 忠	1
商標権の権利濫用の抗弁一家元制度下の組織及びのれん分けの内紛について	石井 美緒	65
サポート要件と実施可能要件と機能的クレームの関係に関する一考察(1)		
－クレームの全範囲にわたって実施可能とする必要があるのか？－	田村 善之	101
特許法における記載要件の日米比較研究(2)－バイオテクノロジーを中心に－	劉 一帆	131
特許権の間接侵害の理論(6)	橋 雄介	195
越境的な行為への「譲渡の申出」の適用、損害の範囲及び均等論が問題となった裁判例について－L-グルタミン酸製造方法事件－審判決－	鈴木 將文	241

第 68 号

東京・大阪以外の地方裁判所の知的財産権関係民事判決全件調査（令和2年）	谷川 和幸	1
異議申立人及び無効審判請求人の地位の一般承継の可否	阿部 光利	32
特許法における記載要件の日米比較研究(3)－バイオテクノロジーを中心に－	劉 一帆	82
アメリカ合衆国におけるアプロブリエーション・アートとフェア・ユース	李 遠杰	113
欧州司法裁判所の「新しい公衆」論について(2)	谷川 和幸	182
「ステーキの提供システム」の発明が「発明」に該当するとされた事例		
－ステーキの提供システム－	新藤 圭介	199
音楽教室における生徒の演奏の行為主体が音楽教室ではないとした最高裁判決について－最高裁令和4年10月24日判決 音楽教室事件－	田村 善之	252

第 69 号

まだ、特許法の面白さを知らない君へ—『特許法講義』— …… 田中 永介	1
表現規制としての標識法とその憲法的統制（6）…………… 平澤 卓人	7
再考 医薬品の特許権存続期間延長登録制度（1）—2016 年以降の運用の検証— …………… 清水 紀子	37
サポート要件と実施可能要件と機能的クレームの関係に関する一考察（2） —クレームの全範囲にわたって実施可能とする必要があるのか?— …………… 田村 善之	93
ノーティス・アンド・テイクダウン手続きに関する比較法的の考察 —インターネット上の著作権侵害を中心に— …… 劉 楊	117
平面的な絵柄に関する著作物性の判断—布団の絵柄事件控訴審— …………… 李 遠杰	201

第 70 号

田村善之「知的財産法政策学」のエッセンスについて …… 鈴木 悅心	1
生成 AI をめぐる著作権法の課題…………… 田村 善之	13
生成 AI と著作権へ「考え方について」に関する 3 つの論点～… 奥邸 弘司	103
他人の氏名を含む商標の取扱：2023 年商標法改正後の課題（1） …………… 山本真祐子	145
先使用制度のあるべき未来—パラメータ発明に対して先使用を認めた【ランプ及び 照明装置 2 審】を題材として— …… 吉田 広志	181
再考 医薬品の特許権存続期間延長登録制度（2）—2016 年以降の運用の検証— …………… 清水 紀子	213
SNS 時代における引用の判断の変容？—2022 年 1 月 1 日～2024 年 9 月 30 日に おける著作権法 32 条 1 項の裁判例の検討 …… 平澤 卓人	301
冒認と民法 94 条 2 項類推適用…………… 阿部 冬星	347
染描紙の著作物性と默示の許諾が問題となった事例—天空図屏風事件— …………… 李 遠杰	393